



高宮だより

安来市立第二中学校
〒692-0037 安来市吉岡町7番地
Tel: 0854-22-2859 Fax: 0854-22-6454



令和5年度（2月15日発行：第11号）

<http://www.city.yasugi.shimane.jp/gakkou/daini-jh/>

または右のQRコードから E-mail: daini.jsc@city.yasugi.shimane.jp

学校評議員会を開催しました 二中の課題と今後の取組について

12月14日に学校評議員会を開催し、評議員の皆様方から、生徒・保護者・教職員のアンケートをもとに、評価していただきました。

生徒、保護者さん、教職員からのアンケートから、評議員会では、①すぐに改善が必要なこと、②来年度からの改善に向けて検討すること、③学校として取り組みたいことについて話し合いをしました。以下にその項目についてお知らせします。

①すぐに改善が必要なこと

- ・自学の在り方
(より生徒が自主性をもって学習するスタイルへ)
- ・端末を使用した学習の推進(よりデジタル化を推進)
- ・教職員の業務改善
(複数担任制のさらなる充実と業務の平準化)

②来年度から改善に向けて検討すること

- ・授業改善(令和の日本型教育の推進)
- ・メンター制度のさらなる充実
- ・図書館活用教育や読書活動の推進

③学校として取り組みたいこと

- ・学校運営協議会による協議
(学校と地域で子どもたちを育てるシステム構築)



頑張ります



評議員の方々からは、忌憚のないご意見をいただきました。また、今後、来年度の学校運営協議会の設立により、さらに地域との連携・協働を深めていきたいと感じました。学校評価については右のQRコードから読み取ってご覧になれます。ご覧ください。なお、今年度から評価項目を大幅に変更しておりますので、昨年度以前と比較ができません。また、保護者様に書いていただいた自由記述については、生徒、教員個人に対応すべきものもございましたので、ここでは公表いたしません。適切に対応いたします。ご了承いただきますようお願いいたします。



地域の支援に感謝！！ 書き初め指導をしていただきました

1月16日、宇賀荘地区の祖田咲様に来ていただき、書き初めの指導をしていただきました。本校に来ていただくのは初めてでしたが、生徒たちとすぐに親しくないただき、生徒たちは生き生きと取り組んでいました。ありがとうございました。



ICT活用教育の推進 今後学び方が大きく変わります

ICTの活用により、生徒の学習スタイルは授業だけでなく、今後は家庭学習についても変わっていきます。二中としては3学期は生徒たちが毎日、タブレットを持ち帰り、各教科の課題や自学を進めていきたいと思えます。生徒たちにはタブレットを有効に使い、学力向上に役立ててほしいです。

さて、1年生は1月29日～2月1日までコロナによる学級閉鎖となりました。このような状況でも、1年生はリモートによる健康観察や休業中の様子、課題について確認や連絡をしました。また、アプリを使って、空間図形のおさらいのクイズをして定着を図りました。今後感染症等で学校が閉鎖になったとしても、このような姿が一般的になっていく予感がありました。二中は生徒たちの新たな学び方を進めていきます。



指導者の方々に指導していただきました 安来高校フェンシング巡回指導

1月19日は安来高校の渡辺先生をはじめ4人の指導者の方々が来校され、1年生から3年生までそれぞれ2時間ずつフェンシングの指導をしていただきました。フェンシングでの日本人選手の活躍は最近では当たり前のようになっていますが、こうやって市内の各中学校等を巡回で指導され、競技の魅力を伝えておられる地道な活動も、その活躍の一端を担い、競技全体を支えていると感じました。ご指導ありがとうございました。



各種大会の成績

女子バレー部

- ・ニューイヤーカップ(鹿島総合体育館) 1/20
予選Dリンク1位 1・2回戦勝利
決勝 対宍道中0-2(準優勝)
- ・オロチカップ(カミアリーナ) 2/4
予選Aリーグ1位 決勝トーナメント1回戦勝利
準決勝 対松江四中0-2
3位決定戦 対松江二中2-0(3位)



知識と体験が重なるとき、学びは深まります 模擬裁判体験

1月24日、3年生社会科の日本の司法制度についての学習で、裁判員制度の模擬体験をしました。島根県弁護士会から弁護士の野島様、陶山様が来校され、裁判員制度の説明や模擬裁判を通して、その仕組みや内容について教えていただきました。



裁判員制度では18歳から、参加する資格があり、抽選により選ばれるそうです。3年生はあと3年もすれば大人になるので、裁判員になる確率は低いとも言えます。裁判員の立場で有罪か無罪でないかを選択する過程で、いろいろと意見を交わし、結論を出す過程を体験することができました。

弁護士さんの言葉で印象に残ったのは、「理系文系関係なく文章を書いたり、ロジック、考え方を組み立てたりする過程で論理的に物事を考え、まとめていく力はとても重要である、今回は有罪か無罪かの判断は難しいが、自分でなぜそう考えたのか、それをわかりやすく論理立ててまとめることはよい体験になったと思う。」と話されました。



大変、印象に残る言葉でした。今、教育で求められている重要なチカラだと感じました。一人一人の考えをチームでまとめて、合意形成をして結論を出すという貴重な経験ができたと思います。

そして、最後に違った観点からも話されました。昨今の特殊詐欺で末端で逮捕される青少年は、単に単価の高いバイトと思い犯罪に手を染めているそうです。そして、初犯でも裁判で実刑となるケースが多いそうです。いわゆる闇バイトで犯罪であるという感覚がないまま始めてしまい、途中から抜けられなくなるケースが後を絶たないそうです。



今回は実際に弁護士さんに来校していただき、これまで学習して得た知識が体験によって、より深い学びにつながったと思います。大変貴重な時間となりました。

ふるさと納税 学校に寄付していただきました

今回、ふるさと納税により二中あてに寄付をしていただきました。匿名となっておりますので、二中のご出身の方かはわかりませんが、大変感謝しております。今回のご寄付で、保健室の毛布が古くなっておりましたので、新調させていただきました。1月10日に原長さんが来校され、毛布を受け取りました。大切に使用させていただきます。寄付をしていただき、ありがとうございました。



さまざまな指導・助言をいただきました 学校保健委員会開催

1月23日、普段からお世話になっている学校医の杉原様、小川様、学校薬剤師の上橋様、PTA正副会長の竹内様、田邊様に来校していただき、学校保健委員会を開催しました。コロナの影響で4年ぶりの開催でした。

まず学校から身体測定、内科検診、歯科検診、視力検査等の結果をお知らせするとともに、家庭での生活習慣改善のためのメディアコントロールウィークの取組や本校の教育相談のシステム(メンター制度)について説明をしました。



出席していただいた委員の皆様からは、生徒たちのスマホの所有率と視力等の影響、肥満についてのデータの提示の仕方、中学生の体力状況等について質問やご意見をいただきました。

最後に学校医、学校薬剤師の3人の方からは、以下のような指導助言をいただきました。

- ・二中の子どもたちは、子どもらしく素直に育っていると感じる。このまますくすく成長してほしい。
- ・今年度は暖冬なので、スギ花粉は早めに飛散する。また、ダニ、ハウスダストによるアレルギーもだんだん多くなってきている。2月の中旬がピークになるかもしれない。
- ・学校でどのような感染症が流行しているのかを、生徒たちや保護者にもっと周知する必要がある。
- ・子宮頸がんの情報に親がもっと関心を持つべき、学校としてどう発信するかを考えてほしい。ワクチンを接種する、しないは親の判断であるが、どのような病気であるかは子どもたちは知っていなければいけない。

大変貴重な指導助言をいただきました。今後の学校運営に生かしていきたいと思っております。

第69回全国読書感想文コンクール

さん 堂々の全国入賞

先月号で、**さん**の作品が島根県審査で最優秀賞に輝いたことはお知らせしましたが、全国審査では入賞という結果でした。作品が全国審査まで進んだことは、大変すばらしいことです。よい本に出会い、新しい気づきがあり、**さん**が成長したことがよく分かる感想文でした。また、書くことを通して、自分の考えを深め、どうしたら他の人に伝わるかを試行錯誤して磨いた表現力はとてもすばらしいと感じました。

生徒たちには、感受性が豊かな中学生時代に、ぜひ**さん**のように、よい本に出会って、心の成長を自分で促してみしてほしいと思います。図書館には多くの魅力的な本がそろえてあります。図書館をたくさん活用し、読書に親しんでほしいと思います。図書館には福田司書さんもおられ、環境はしっかり整っています。一年に一度は、中学生としての自分の立ち位置(年齢や家族、自分の性格、自分が生きている時代や生活している地域等)から、本を読み、書くことを通して考えを深めてほしいと思います。

何はともあれ、**さん**、本当におめでとう！！すばらしい作品でした。